

【三陸沿岸道路(尾肝要普代道路)
菽牛トンネル(仮称)の工事安全祈願祭を開催
～普代村側の工事に着手～

三陸沿岸道路の「尾肝要普代道路」は震災復興のリーディングプロジェクトとして、平成32年度の開通を目指して事業を進めているところです。

このたび、「菽牛トンネル(仮称)」(延長1,712m)普代村側の工事に着手することとなりました。

つきましては、被災地の一日も早い復興と工事の安全を祈念して、安全祈願祭を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

1. 日 時 :平成30年5月28日(月) 10時から(約1時間30分を予定)
2. 場 所 :下閉伊郡田野畑村菽牛 地内 別紙1 参照
3. 主 催 :(施工者)西松建設株式会社 東北支店
4. 安全祈願祭の概要 :
 - ・神事(鍬入れ)
 - ・発注者挨拶(三陸国道事務所長)
 - ・来賓祝辞(普代村長、田野畑村長)
 - ・鵜鳥神楽うのとりかぐら
5. 事業概要 :別紙2__1～5 参照
6. そ の 他 :雨天の場合も実施します。

【発表記者会:岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、久慈報道機関各社、東北専門記者会】

問い合わせ先

【今回の式典や施工内容に関する問い合わせ】

西松建設株式会社 東北支店

国道45号 菽牛北地区道路工事 現場事務所 電話0194-32-3720

現場代理人 小倉 仁志 (おぐら ひとし)

【事業に関する問い合わせ】

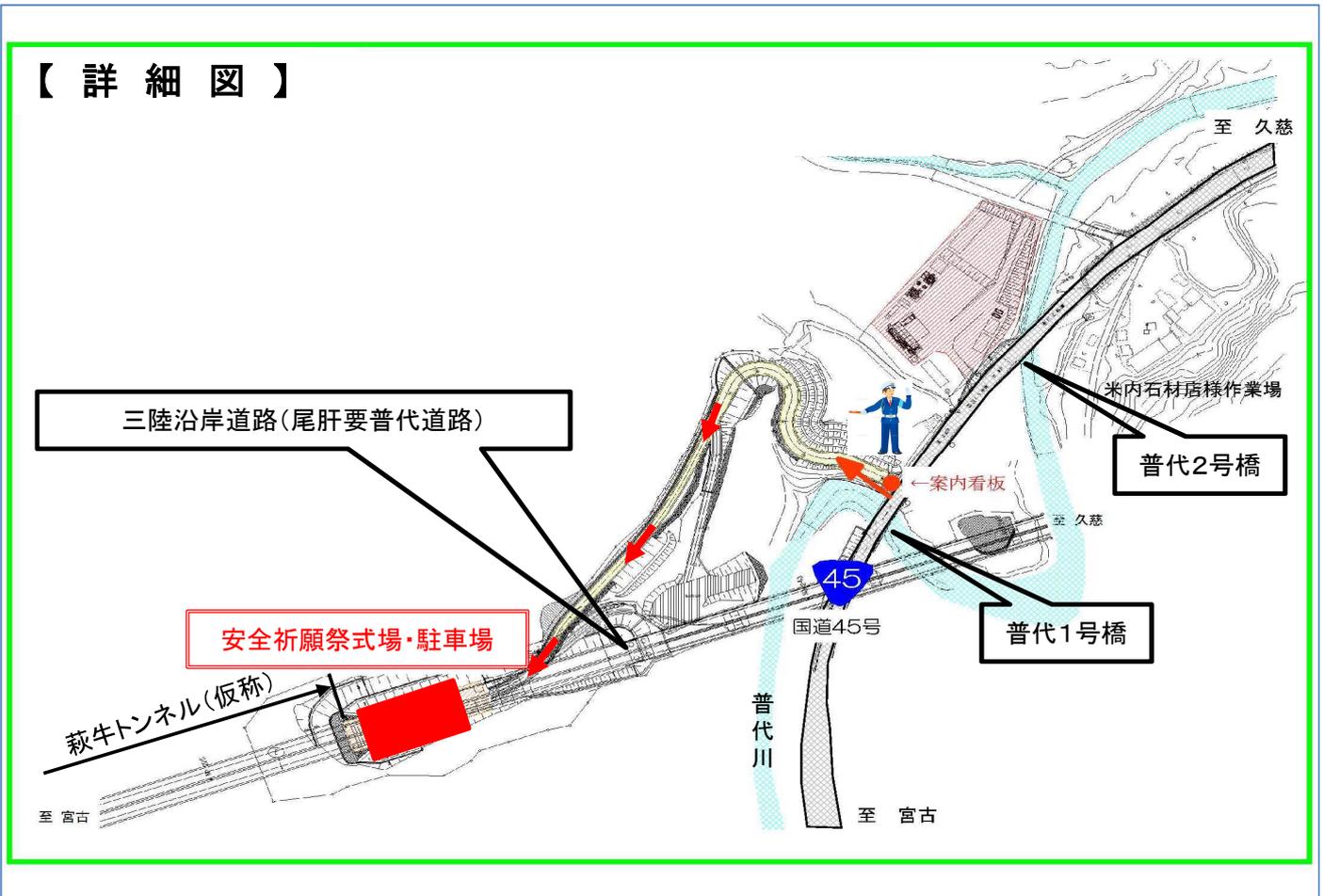
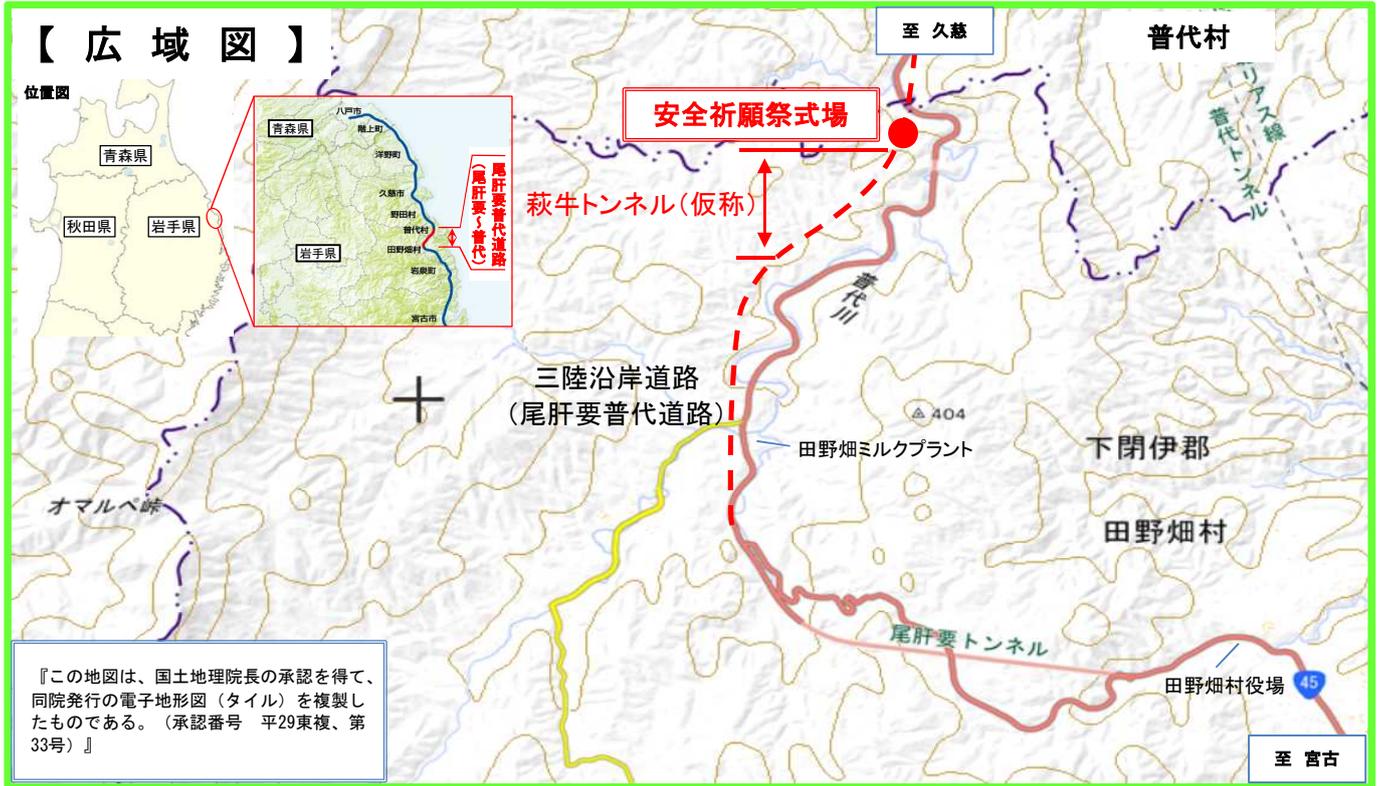
国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 電話0193-62-1711(代表)

副 所 長 船木 仁 (ふなき ひとし) (内線204)

工務第二課 建設監督官 小岩 孝行 (こいわ たかゆき) (内線503)

※三陸国道事務所HPならびに復興道路、三陸沿岸道路については  で検索できます。

【案内図】



尾肝要普代道路(尾肝要～普代)の概要

路線概要

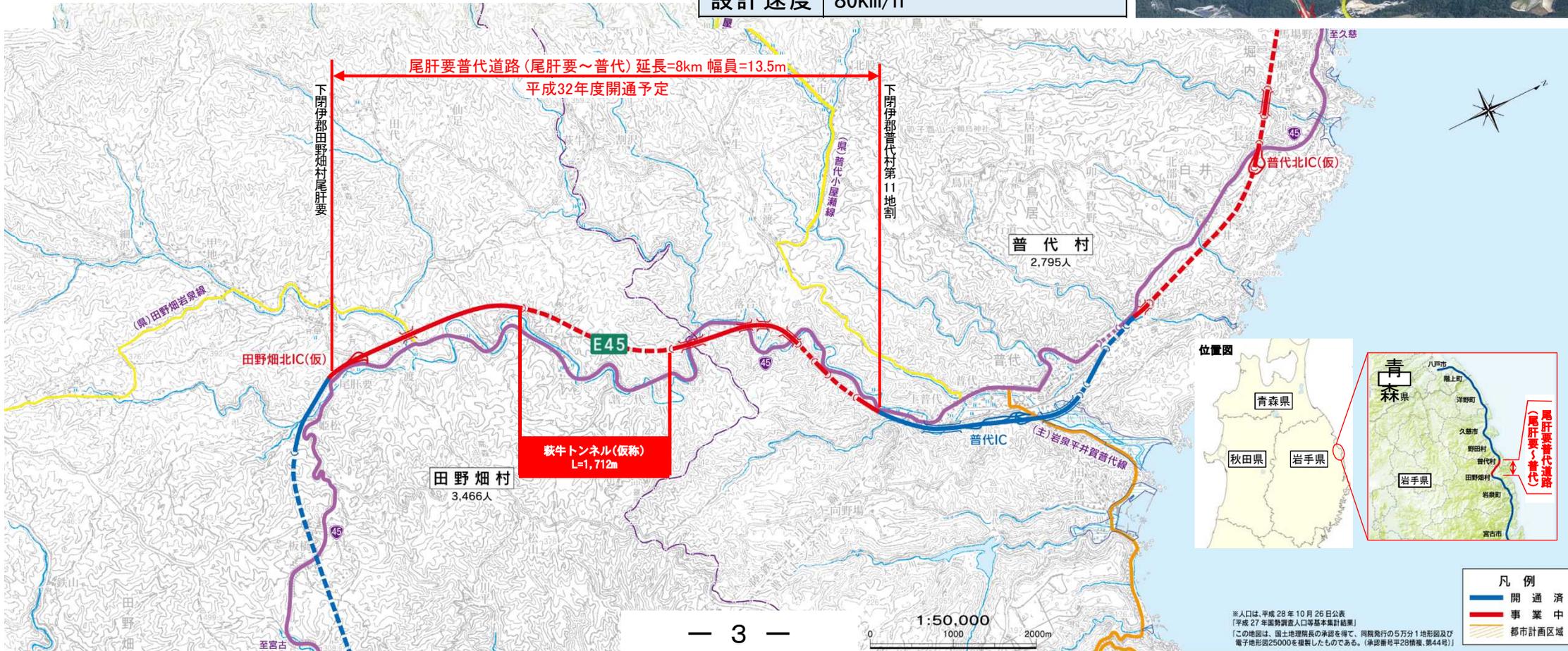
三陸沿岸道路「尾肝要普代道路(尾肝要～普代)」は、田野畑村尾肝要から普代村第11地割を結ぶ約8kmの自動車専用道路です。

現道の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により救援物資の輸送拠点となる久慈港と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

平成30年度は、改良工事、トンネル工事、橋梁工事、舗装工事を促進し、平成32年度の開通を目指します。

計画諸元

尾肝要普代道路 (尾肝要～普代)	
起 点	下閉伊郡田野畑村尾肝要
終 点	下閉伊郡普代村第11地割
延 長	8km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



凡例
 ■ 開 通 済
 ■ 事 業 中
 ■ 都 市 計 画 区 域

※人口は、平成28年10月26日公表
 「平成27年国勢調査人口等基本集計結果」
 この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図及び
 電子地形図25000を複製したものである。(承認番号平28情報_第44号)

- 東日本大震災では、津波被害により国道 4 5 号等の幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止が発生
- 尾肝要普代道路は、大規模災害時でも寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成

▼ 岩泉町～久慈市間経路



▼ 津波により寸断された国道

写真① 野田村野田地区

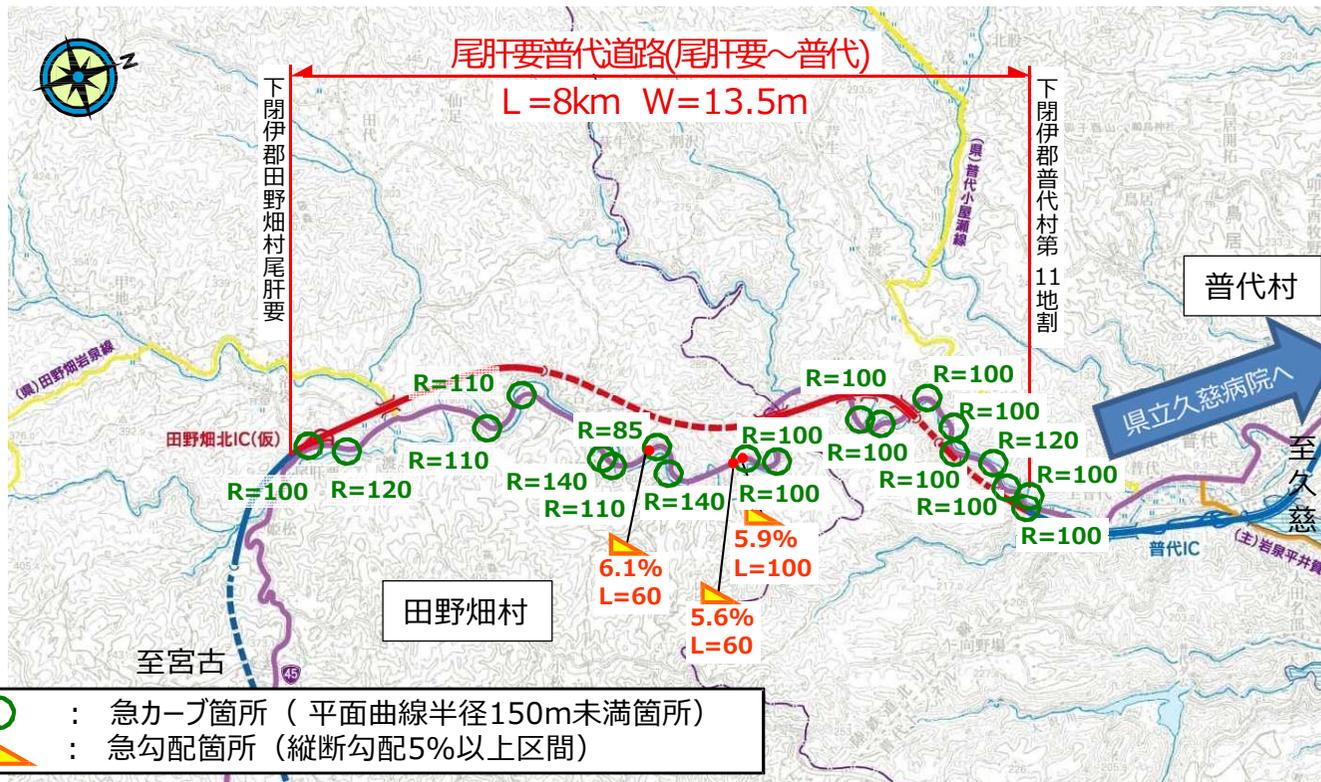


写真② 岩泉町小本地区



- 田野畑村からの救急搬送は主に第三次医療施設である県立久慈病院となっているが、国道45号には急カーブ等が多く、救急搬送時に大きな課題
- 尾肝要普代道路の整備により、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全安心な住民生活に寄与

▼現道の隘路状況



尾肝要～普代区間の国道45号

急カーブ箇所
($R < 150\text{m}$)
19箇所



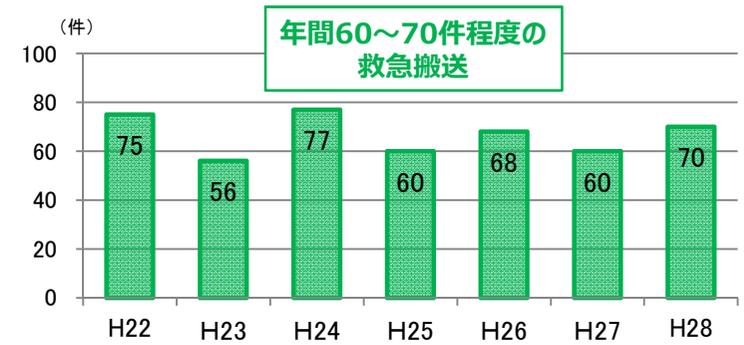
急勾配箇所
($i > 5\%$)
3箇所
220m



急カーブ箇所 ($R < 150\text{m}$)
急勾配箇所 ($i > 5\%$)
0箇所

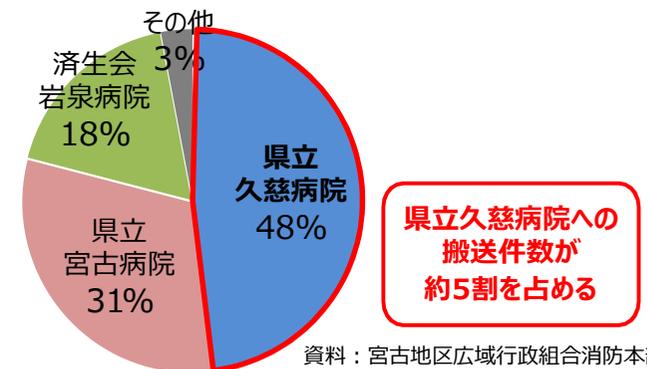
尾肝要普代道路

▼救急搬送件数(田野畑村～県立久慈病院)



資料：宮古地区広域行政組合消防本部搬送実績
※田野畑分署

▼田野畑分署の搬送実績 (平成28年)



資料：宮古地区広域行政組合消防本部搬送実績
※田野畑分署

田野畑村から県立久慈病院への搬送時間
現在 約55分 ⇒ 将来 約35分

※H27道路交通センサス(昼間非混雑時上下平均旅行速度)、設計速度より所要時間算出(三陸沿岸道路全線開通時)

- 宮古港～室蘭港間で、岩手県初の新たなフェリー定期航路が平成30年6月に開設
- 三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由
- 北海道と東北、首都圏間の交流・物流を活発化させ、東北の復興の加速化に寄与

■ 復興道路・復興支援道路の整備とフェリー航路

▼フェリー航路図



▼宮古港周辺の道路整備状況



▼平成27年11月に宮古港でフェリー乗船会が開催され、カーフェリー「シルバークイーン」が寄港



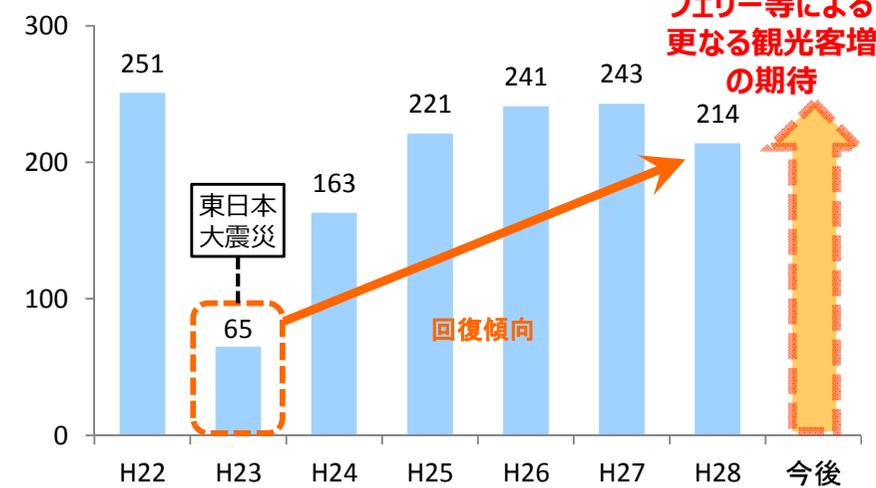
▼航路概要

(川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋)

- 開設時期 平成30年6月22日
- 運行計画 1日1往復、毎日運行
- 選定理由
 - ① 急ピッチで進められている復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上
 - ② トラックドライバーの休憩時間8時間を確保できる最適な航路
 - ③ 両港とも近隣の観光資源が豊富で旅客需要に期待
 - ④ 自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、トラック事業者等からの期待も大きい。

▼観光入込客数の推移と期待

(万人) (※宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村)



資料：岩手県観光統計、暦年

新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平
(八幡平市入込客数
: 175万人/年)



遠野盆地
(遠野市入込客数
: 168万人/年)



展勝地
(北上市入込客数
: 133万人/年)

世界遺産 平泉
(平泉町入込客数195万人/年)



中尊寺



毛越寺



三陸復興国立公園

浄土ヶ浜(宮古市)



(宮古市入込客数 : 122万人/年)

船越半島大釜崎 (山田町)



(山田町入込客数 : 23万人/年)

碓石海岸 (大船渡市)



(大船渡市入込客数 : 100万人/年)

三陸ジオパーク

小袖海岸(久慈市)



(久慈市入込客数 : 79万人/年)

北山崎(田野畑村)



(田野畑村入込客数 : 55万人/年)

龍泉洞 (岩泉町)



(岩泉町入込客数 : 43万人/年)

※入込客数は、平成27年度の値です。